

麦の会だより

第 55 号

2019 年 7 月

年 3 回発行

4 月 20 日(土)
サンクスデーと麦の会総会が行われました



サンクスデー
ランチと報告会

麦の会総会



「新年度にあたってご挨拶」

社会福祉法人緑の風 理事長 武田和久

今から 20 年前、ハヶ岳南麓に花づくりの温室をつくり、2 年後には知的障害者の支援事業所を立ち上げました。その法人「緑の風」の名付け親は、昨年 10 月に亡くなられたバイオリニストの岡山潔さん(東京藝術大学名誉教授)でした。岡山さんとの出会いは約 50 年前のこと、ドイツ・ハンブルグでの駐在員生活を始めて間もないお互いにまだ 20 代後半の頃でした。以来半世紀もの間、親しく付き合いを続けてきました。そのような縁から、15 年間開催してきました「麦の会」主催のチャリティーコンサートでは、監督、演奏者として多大なご支援を頂きました。また、ハヶ岳原村での若手音楽家育成のためのセミナーやホテルリゾナーレでのコンサートは、25 年間もの長きにわたって開催され、私は協賛者として関わりながら、岡山さんが創り出す音楽の世界を楽しんできました。幅広い見識を持つ岡山さんは、音楽家としては珍しく事業家精神旺盛で企画力、行動力などその異色の才能には目を見張るものがありました。東京藝術大学を退職してからは「若者たちの育成なくして、日本クラシック音楽の将来はない」と自らスタジオを造り、NPO 法人 TAMA 音楽フォーラム理事長として、若手音楽家育成に尽力されていました。音楽に対するひたむきで真摯な姿勢、日本のクラシック音楽界の将来のため、若い世代のためにと崇高な理念をもち、全力で歩まれた岡山さんから、たくさんのことを学ばせて頂きました。感謝の気持ちを捧げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

令和元年を迎えました。

緑の風の活動も、取り巻く環境の変化に伴い、大きく変わってきました。2016 年、発達障害者支援法が改正・施行され、教育現場においても発達障害のある子どもたちへの合理的配慮をすることが義務付けられることになりました。ここにきてようやく発達障害が注目され、認知され始めているということを実感できるようになりました。しかしながら、法制度はまだ成熟しておらず、支援体制の実態はあまり変わっていないのが実情、発達障害者を抱える家庭は大きな不安を抱えています。このような状況下、喫緊の課題は、発達障害者を適切に支援することができ、またその方法を指導できる専門家の育成です。

岡山さんは最後の最後まで、若手音楽家育成とクラシック音楽を広めるための活動に取り組まれていました。緑の風としても、専門家の育成と発達障害への理解を高めるための啓蒙活動を進めていくことに力を注いでいかねばと、意を新たにしているところです。麦の会会員の皆様には、セミナー開催などのご案内を致しますので、是非、足を運んで頂きますようお願い申し上げます。

麦の会 総会

麦の会 東京連絡先 TEL: 03-3556-3056
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1
ニュー九段ビル 榊緑風舎 気付

2018年度事業活動報告

6/2	麦の会総会 出席者 29名 2018年度の決算報告、2019年度の予算承認、他
9/29	第7回 緑の風「ミドリリンピック」に参加
10/下旬	麦の会オリジナルカレンダーの製作、販売 カレンダーを長坂センターへ 110部、 千代田センターへ 80部 贈呈
11/30	「緑の風」に援助金 500万円を贈呈
2019年 3/9	麦の会主催 会員懇親会「麦の会のつどい」開催 アークヒルズクラブ（東京・赤坂）
以上の活動により2019年3月31日現在会員数は、 個人(正・準)会員：528名、法人会員：20社	

2018年度決算報告

2017年度からの繰越金	5,786,631
収入の部	
項目	金額(単位:円)
年会費	3,676,000
麦の会のつどい収入	1,296,000
商品売上	706,202
利息、雑収入	54,119
合計	5,732,321
支出の部	
項目	金額(単位:円)
援助金	5,000,000
麦の会のつどい支出	1,262,916
商品企画・製作	657,108
事務諸経費	260,725
合計	7,180,749
会費前受金預かり分	385,000
2019年度への繰越金	4,723,203

2019年度事業活動計画

1. 麦の会の主催する事業活動
(1) 緑の風への援助金 昨年同様、後援会の設立趣旨に沿って資金援助を継続
(2) 麦の会会員懇親会「麦の会のつどい」 2020年2月29日(日) 赤坂・アークヒルズクラブ
(3) オリジナルカレンダーの製作、販売
(4) 岡山潔氏追悼コンサートの支援 2019年10月1日(火) 杉並公会堂
2. 麦の会が応援する事業活動 「緑の風」のイベントへの積極参加 サンクスデー(4/20 終了)
3. その他 麦の会の会報「麦の会だより」年3回の定期発行を継続

2019年度予算計画

2018年度からの繰越金	4,723,203
収入の部	
項目	金額(単位:円)
年会費(前受け金を除く)	3,565,000
麦の会のつどい収入	1,200,000
商品売上	680,000
合計	5,445,000
支出の部	
項目	金額(単位:円)
援助金	4,500,000
麦の会のつどい支出	1,160,000
商品企画・製作	640,000
事務局経費	360,000
合計	6,660,000
会費前受け金預かり分	200,000
2020年度への繰越金	3,708,203

サンクスデーの後開催された麦の会総会では、前年度事業活動報告及び2019年度事業活動計画が原案通り承認されました。併せて役員の変更も行われ、今年度の体制が右のように決定いたしましたのでご報告いたします。なお2019年度には報告された活動計画に加え、緑の風が新たに取り組む発達障害支援事業のサポートもして参ります。

今後とも皆様方の一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

2019年度役員紹介

会長：滝鼻 卓雄
副会長：橋本 修三(総括)
竹田 禎久(会計)
水野 明(事業)
角南 蓉子(事業)
中井 俊機(長坂担当)
監事：三羽 正人

長坂事業所より

JRダイヤ改正



長坂事業所周辺には一応、JR中央線とJR小海線が通っている。一番近い停車駅は小淵沢駅（JR中央線）と甲斐小泉駅（JR小海線）なのだが、普通電車は1時間から時には2時間に1本とビックリするくらい電車が来ない。だから地元の人ほとんど電車を利用せず、車で移動する。利用必須な人達は、運転免許証を持っていない人、子供、学生、高齢者、朝夕のみ通勤サラリーマン。（でもみんな駅までは車か車で送迎）小淵沢駅は特急電車が停まるので、他の駅に比べて少しは利用者数が多いかもしれない。

そんなみんなが乗らない電車でも、今年3月のJRダイヤ改正はあちこちで話題になった。

まずは特急の乗車システムと乗車券の購入方法が変わった。JRはネット購入を推奨している。事前予約すると割引が適用されるのだが、スマホやネットを使い慣れていない世代の人達は困らないのだろうか？（私の両親は理解できていない）往復予約をしたくとも、予定によって時間が確定できない場合もどうしようか悩んでしまう。

SUICA・PASMOが使えない改札もある。（車内清算を促すアナウンスが流れることも…）

駅はどんどん無人化され駅員もいない。閑散とした駅周辺、電車一本乗り遅れたら大事件である。1時間先の電車を誰もいない駅で待つなんて嫌だ。時間をつぶす場所すらない。電車を利用する場合、運行時間を第一優先に予定を立てざるを得ない。

緑の風から就職したYさんも今回のダイヤ改正で苦労した一人。電車の発着時間が変わったために、職場の勤務シフトから乗り降りする駅まで変更しなくてはならなかった。

JRダイヤ改正を伝えるパンフレットには「もっと快適に、便利に…」と書いてあるが、誰にとって快適、便利になったのだろうか？コスト削減も電子化も企業にとっては重要な取り組みなのだと思うが、まずは利用する人達の目線に立って考えてほしいものである。

最近、国の施策や企業・社会の動向に「冷たさ」を感じるのは、私だけだろうか…

（長坂事業所 木田友紀子）

千代田事業所より

《ペットボトルキャップの仕分け作業》

JSPちよだでは、ここ数年利用者の高齢化と重度化のため、手・指先が思うように使えなかったり、目元の見えづらさなどから、これまで関わっていた作業に取り組むことが難しくなっている利用者が増えています。

2018年11月から新しい作業として受注しているペットボトルキャップの仕分け作業は、素材がプラスチックなので手先が不器用な方でも取り扱いやすく、視覚的にわかりやすい色分けができるため、年齢、障害の程度にかかわらず、幅広い状態像の利用者に携わっていただくことができます。

【JSPちよだで行っている工程を紹介します】

0. JSPちよだに納品

回収業者が持ってきてくれたキャップは、様々な種類が混ざって納品されます。

1. 作業量をわかりやすくするために小袋に入れる

2. カラフルなキャップと白いキャップに分ける

3. カラフルなキャップを12色に分ける

12色から、4色ずつの3段階に分けて、工程を分担して行っています。

4. 形の違うもの、キャンペーンシールが貼ってあるものを分別

5. キャンペーンシールをはがす

6. ペットボトルキャップ以外のものを分別

電池や缶のフタ、調味料やドレッシングのフタなども混ざっており、ペットボトル以外のものを取り除きます。

7. 業者へ引き渡す

JSPちよだで分別したペットボトルキャップは、業者に引き渡した後ワクチンの費用として発展途上国へ寄付されます。

このように多くの利用者が携われる工程があるため、一つの工程しか携われない人や短い時間しか集中しにくい人も活動に取り組むことができます。利用者によっては、昼食後の空き時間や休憩活動のレパートリーの一つとして好んで行っている方もいます。

今後も本人ができる力を活用して社会貢献できる作業の種類を増やしていきたいと考えています。

（千代田事業所 青柳美沙子）

社会福祉法人緑の風 平成30年度事業報告及び決算報告

緑の風理事会が3月と5月に、定時評議員会が6月に行なわれ、前年度の事業及び決算報告、今年度の事業計画及び収支予算について審議の結果、いずれも原案通り承認されました。以下、概要をご報告致します。

【平成30年度 事業報告】

長坂センターでは、昨年度理事会決議を経て平成30年9月末でグループホーム事業を廃止しました。事業所では引き続き就労移行支援と生活介護の2事業で運営しました。JSPちよだでは、昨年度から始めた生活介護を含め3事業を円滑に運営するため、監督職を2名体制にし、個別支援の質を高めました。さくらベーカリーでは、外部コンサルテーションの範囲を拡大し、本年度注力したコスト見直しも進み収支は若干改善しました。

【平成30年度 決算報告】

- ◆ 法人全体：事業収入減が大きく、将来支出に備えた積立金の計上もあり若干の収支赤字となった。
- ◆ 長坂センター：グループホーム事業廃止・就労移行利用減により収入減。
- ◆ JSPちよだ：ほぼ昨年同様。
- ◆ さくらベーカリー：収入減もコスト見直しで若干収支改善

資金収支計算書

（千円）

	H30年度決算	R1年度予算
収入	192,693	204,100
支出	193,438	204,100
収支	▲745	0

「ウソばっかりのノーマライゼーション」のはじまり

話は、1960年代から、1980年代へと飛ぶ
大人になって自分の仕事を定めるときに、「絶対に就くまい」と子ども心に固く誓ったはずの福祉の仕事を選ぶこととなった
なぜかを説明すると長くなるので、それはまたの機会に

選んだ仕事、就いた場所は、福祉の仕事、それも施設の現場
知的障害の成人施設、それも障害の重い人たちが生活する入所更生施設だった
時は1981年、ご存じの方もいらっしゃるかもしれないが、「完全参加と平等」というノーマライゼーションの理念が声高に謳われていた、国際障害者10年の最初の年である
ボクが就職した、国際障害者年のそのタイミングに合わせて作られた新しい施設は、アブノーマルな環境として脱施設化（施設を廃止して普通の環境で生活を組み立てること）の矢面に立つこととなる、入所施設だったのである
まったくもって、大きく複雑な矛盾

いまの自分の仕事を否定しながら、自分の仕事の意味を作り出すのだから、なんとも難しい作業である
その施設の運営責任者は、ノーマライゼーション推進派の急先鋒だったから、なおさら混乱を極める
「施設はない方がいい」、と語る人が、施設の責任者なのだから・・・
しかし、幸いなことにそのノーマライゼーションで言われていたことは「社会全体の課題である」ということ
施設の現場が、その不備を全部かぶらなくてもよい、と
矛盾はありながらも、どうやって解消していくかを考え、そこへの働きかけを続けていくことが我々の役目である、と位置づけてもらえた
それにしても、駆けだしの施設職員には、難しい課題だった
施設で働いて、そこで生活する人たちの暮らしを少しでもよくしよう、と考える（今考えれば偽善的だとわかる）若者の純粋な労働意欲が、根底からくつがえされるのだから

しかし、この時に「なんでや、なんで家帰れへんのや、アホやからか」の言葉の重みが、ボクの仕事を支えてくれた
障害があると施設で暮らさなければいけないのか、それとも、障害があっても普通の暮らしができるように、環境を整えるのが社会の責務なのか
今となっては簡単に答えが導き出せる、しかし、難解な命題を与えられて臨んだ当時の仕事は、イバラの道だった

「ウソばっかりのノーマライゼーション」のはじまり

この先、どんなことが起こるか、ちょっとご紹介

「施設では、ひとりでできるようにならない洗濯、
なんと、家では自分でできるようになった」の巻

「一生懸命教えていること、学ばせていること、
役に立つの？ 必要なの？」の巻

「働くのに必要なことは？ なにができればいいのか？」の巻

「普通の暮らしは、どうやって作り出されるか？」の巻

岡山潔氏追悼コンサートのお知らせ

“岡山潔メモリアルコンサート 岡山先生の思い出とともに”

日時：2019年10月1日（火） 開場 18:00 開演 18:30
場所：杉並公会堂

* 岡山潔氏の教え子達による自主企画のコンサートです。麦の会はこれを応援していますので、皆様ご参加ください。詳しくは同封パンフレットをご参照ください。お申込み・お問い合わせは、麦の会事務局まで(Tel: 03-3556-3056)



岡山氏と麦の会

岡山潔氏は長年の武田理事長との交友関係もあり、“緑の風”設立に際しては、その名付け親となり、また“麦の会”発足にあたっては発起人の一人として設立にご尽力頂き、発足後は評議員として会運営のご支援を頂きました。

特にご専門の音楽の分野では、会員親睦交流の場と緑の風への援助資金確保のために催したチャリティーコンサートには、第一回から演奏者として、また音楽監督として質の高いクラシック音楽を提供して頂き大好評を得ました。以下にその一部をご紹介します。



岡山夫妻を中心とするトップアーティストとのアンサンブルで毎回のように出演。時には海外からの演奏家や若手演奏家たちとの協演も

麦の会会員を中心とするプロアマ混成の演奏家による“カンマーオーケストラ緑の風”を率い、自らコンサートマスターとして演奏。第9回からは有望な若手演奏家も交えて



第12回からはヤングアーティストシリーズと銘打ち、ご自身のライフワークである若手演奏家の育成にもかなった、将来有望な若手演奏家だけでのオーケストラを監督指導。



ステージ上での直接指導

お知らせ

緑の風カレンダーを販売します

1部 1000円 (+送料 84円~)
※10月より販売開始です



麦の会主催の会員懇親会「麦の会のつどい」を下記の日程で行います。

日時：2020年2月29日(土) 12時~14時
場所：赤坂・アークヒルズクラブ

*緑の風活動報告、服部芳子さんのバイオリン演奏と会食
(ビュッフェ形式で着席です)
*詳しくは次回発行の麦の会だよりでお知らせいたします。

発達障害支援事業のお知らせ

先日の麦の会総会でもお知らせしましたが、今年度、緑の風では麦の会のご支援を受けて、新たな事業を開拓しています。「発達障害支援事業」と名付け、発達障害の一般社会での理解を深めるための啓発事業や、発達障害の支援に携わる専門家を育てる人材育成事業などに着手しました。初年度であり、事業の形態内容などについては様々に模索中ですが、業界における先駆的な取り組みを続けてこられた有識者たちと連携し、いくつかの事業企画を組み立てました。啓発事業、人材育成事業として、下記のような内容のものを企画しています。緑の風の支援者である麦の会みなさんに内容概略をお知らせするとともに、併せて啓発事業などへのご参加もいただきたくお知らせいたします。5月時点でのお知らせなので、今後、追加変更のあることをご了承ください。

1) 早稲田発達障害研究会 (WAMSADD) (早稲田大学教授：梅永雄二氏)

(1) セミナー

第2回 2019年9月29日(日) 早稲田大学早稲田キャンパス(予) 会費2,000円
講演：長谷川正人(ゆたかカレッジ早稲田学長) + 実践発表2件
(第3回2019年12月22日(日)、第4回2020年3月22日(日)を予定)

(2) 支援マニュアル作成

知的障害から高機能まで自閉スペクトラム症者の成人に関する支援マニュアルを作成・配布

2) ASDの人たちのクオリティ・オブ・ライフ促進事業 (NPO ネスト・ジャパン代表理事：本田秀夫氏)

(1) ASD当事者を運営スタッフに加えた趣味サークル実施

共通の趣味を介した余暇活動による仲間づくり・居場所づくりを促進。発達障害の当事者による運営にも挑戦し、社会参加や役割分担の体験を積む機会とする試み

(2) 発達障害啓発フォーラム(仮称)

2019年11月17日(日)14:00~17:00 TKP 神田ビジネスセンター401 会費未定

3) 成人発達障害啓発及び人材育成事業 ((一社)発達精神医学・心理学研究会理事長：内山登紀夫氏)

早くから発達障害児・者の診療・療育を行ってきたよこはま発達クリニックをベースとした当事者・当事者家族・専門家を対象にした研修会を年間10回開催予定。

編集後記

梅雨のこの時期、天候の変化が激しく体調を崩してしまう方もいらっしゃるようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。熱中症にも気を付けて、暑い夏を乗り切りましょう。会員の皆様にはいつも変わらぬ暖かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。今後も、未永く緑の風を応援してまいりますよう、よろしく願いいたします。(麦の会事務局)

発行元：麦の会 事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1 ニュー九段ビル (榊緑風舎 気付)
TEL: 03-3556-3056 FAX: 03-3556-3057
会費等の振込先 郵便振込 00160-1-613953 「麦の会」
銀行振込 三菱UFJ銀行 神保町支店 (普) 2224536 「麦の会」